

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : グループホーム乙姫の家

作成日 : 平成26年3月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19・30	高齢化・重度化の中で、「いつ、どうなってもおかしくない状態」の方が多い。ターミナルを支援するためには主治医との連携、家族の協力・理解も必要である。	①ターミナル支援体制を充実する。	①主治医との連携がスムーズにいくよう、日頃から情報提供を行ない信頼関係を築けるようにする。 ②ご家族が支援に参加し、悔いのない支援が出来るようにしていく。 勉強会を実施し、利用者様、ご家族を共にケアする配慮が出来るようにしていく。	12ヶ月
2	49	高齢化・重度化する中で、外出や行事等の支援が困難になってきている。	①高齢化や重度化を受け入れ、一緒に楽しむことができる。	①家族やボランティアの協力をお願いしながら外出や行事が継続できるようにしていく。 行事とは別に季節の活動を増やし、楽しみがたくさん持てるようにしていく。	12ヶ月
3	26・27	前年度もプランの理解を課題に挙げたが職員のケアプランに対する理解に温度差がある。また、プランに沿った記録となっていない。	①職員間のケアプランの理解を図る、 ②記録がケアプランに基づいたものとしてサービスの実施を証明する手段であることを理解する。	①勉強会を実施し、理解を図っていく。 ※ケアプラン立案に係るアセスメントを見直し、本人様、ご家族様の思いや像が見えるものに変えている。全員参加のプラン作成を継続する。 ②記録の充実が図れるよう、勉強会を実施し、共通の認識をもってプランに沿った記録が出来るようにしていく。	12ヶ月
4	2	子育て支援センターや、地域の老人会と交流は行っているが、なかなか交流の拡大が図れない。気軽に立ち寄ってほしいが周りがペンションであり、気軽に立ち寄れるという環境ではない。	①地域交流の拡大を図ることで、利用者の楽しみを増やし、ホームへの理解を促す。	①子育て支援センターや老人会との交流継続や、地域のボランティアの受け入れ等を積極的に行っていく。(H26年度は、ボランティア窓口(2名)を設置し対応する) ②桜の木等の植樹を行ない、眺めてもらったり、立ち寄ってもらえるようにしていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。